



仲よく やりめく たくましい子

令和3年(2021年) 2月3日発行 文責 校長 山本 剛

2021年も早くも一か月が経過しました。

「有言実行」「継続は力なり」

早いもので、2021年が始まってもう一か月が経過しました。1月26日には安曇川中学校の入学説明会、さらに29日には本校の入学説明会がそれぞれ開催され、新年度に向けての準備も始まろうとしています。

さて各教室を見てみると、書き初めの他に年明けに子ども達が立てた三学期や今年一年の目標が貼りだされています。その一部を紹介します。

【三学期の目標等】

- 二重跳びを一生懸命に頑張る。 ○跳び箱を頑張る。 ○あきらめない。
- 全部の教科のテストを90点より上をとる。 ○先生の目を見て話を聞く。
- 毎日、元気よくあいさつをする。 ○字をていねいに書く。 ○自主学習を頑張る。
- なるべくたくさん運動をする。 ○自分の係や仕事を頑張る。 ○早寝早起きをする。
- 算数や理科などが苦手なので、公式を覚え、その勉強を特に頑張る。
- 6年生に向けて正しい行動をする。 ○字をきれいに書くことを頑張りたい。
- しっかり手洗い、うがいを念入りにする。 ○自分の係や仕事を頑張る。
- 態度よく話を聞いて、中学校での勉強をしっかりと学べるようにする。
- 苦手な事を好きになる。 ○自主学習で苦手な事をする。 ○そうじをしっかりとする。
- 言葉使いに気をつける。 ○分かったら手を挙げ、その回数が増えるようにする。
- 苦手な勉強でもあきらめずに、しっかりとする。 ○話をしっかりと聞く。

目標は、学習面、生活面等多岐に渡っています。どの目標もすばらしい事ばかりです。そこで、昨年度も書きましたが目標を立てて一か月が経過した、今こそ、その目標に向けて自分が実際に実行できているかを振り返ってほしいと思います。Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)です。

今、体育館で長休みや昼休みに縄跳びを頑張っています。金曜日の昼休みに体育館で6年生が二チームに分かれて「ハの字跳び」の練習をしていました。3分間で二チームとも200回以上跳びました。話を聞いてみると、どちらのチームも前回の練習よりも大幅に回数が増えているそうです。その進歩の理由は、確実に練習を頑張ること(実行)、そして縄の回し方のスピードや人と人との間隔を考えること等(改善)、自分達で工夫をしながら回数を増やしています。そして練習を継続して頑張っていることです。

個人が立てた三学期の目標や今年頑張りたい事も同じで、着実に実行できているかを絶えずチェックし、改善を加えながら継続して実行していくことが自分の進歩につながると思います。「有言実行」と「継続は力なり」で是非とも目標を達成してください。

令和2年度の教育課程の進捗状況について

約2カ月間の臨時休業により年間の授業時間数を確保するために、夏季休業、冬季休業の短縮、さらには3年生以上の水曜日の6時間授業等を実施しました。そのことで、このまま予定通りに3月まで授業を進めていくと、当該学年の授業内容の履修を年度内に終了できる見込みとなりました。

保護者のみな様には、夏季休業や冬季休業の短縮等で多大な負担やご心配をおかけしたと思います。なお、今後も子ども達への毎日の健康観察や、健康管理についてお世話になりますがよろしくお願ひします。

4年生チャレンジタイム「オリジナル扇子づくり」

1月25日(月)に4年生はチャレンジタイムとして、「オリジナル扇子づくり」に挑戦しました。今年度も講師として、中村達也さんに来ていただきました。

11月の藤樹デイでは扇骨業をされている志村隆仁さんに、扇骨が作られていく過程等についてお話を聞きました。そして、このチャレンジタイムでは、実際に扇子づくりに挑戦しました。扇面の下の部分に息を吹きかけ、中骨を入れるすきまをあける作業やボンドを塗った中骨を素早く扇面の下の部分に差し込む作業に悪戦苦闘しながら、そして助けをもらいながら立派な扇子が完成しました。扇子の絵には、子どもたち一人一人の思いが込められています。青柳小学校の伝統である大切にしたい取組です。



【中骨を扇面に入れる作業に集中】

酷寒の中、恒例の「縄跳び大会」始まる

2月1日(月)より、一週間をかけた縄跳び大会が始まりました。どの学年も「8の字跳び」を3分間の合計回数で競います。ただし、低学年は合同で行います。今年度はコロナウィルス感染症拡大防止のため体育館の常時換気を行うため、絶えず寒風が吹く中での練習と大会となりました。また、マスクを着用して行っています。

つい先日、ある学年の練習を見ていたらこんなすばらしい光景が二つありました。一つは跳ぶタイミングに困っている人に、次の人がさりげなく体を押してあげる姿です。もう一つは、みんなで回数を重ねていく中で、引っ掛かった時にマイナス的な発言ではなく、「どんまい」や「大丈夫」という声が自然と発せられることです。確かに、勝負ですから回数が多いことが大事かもしれませんが、「縄跳び大会」を通して学級の団結、思いやりの気持ちが高まっていくことも大切です。



表彰の記録・第42回湖西書き初め展より

1月23日(土)～1月31日(日)まで藤樹の里文化芸術会館で第42回湖西書き初め展が開催されました。その中で、青柳小学校から特別賞(10点)に一人、特選(13点)に三人が選出されました。また、その他にも佳作や入選にたくさんの方が選ばれました。(敬称略)

【雲平賞】 (3年生) 作品「だるま」

【特選】 (1年生) 作品「かるた」

 (2年生) 作品「力もち」 (5年生) 作品「春光」

下校時等における車の駐車へのお願い

【保護者のみな様へお願い】

子ども達の下校時等に学校の正面玄関に車を駐車される場合に、必ずエンジンを切ってくださいと思います。万一、車が急発進等をした場合には大きな事故につながる恐れがあります。お寒いかもしれませんが、どうかご理解とご協力をお願いします。